デジタル部門　　作品No.1　　神戸、出航！



作品に込めた想い

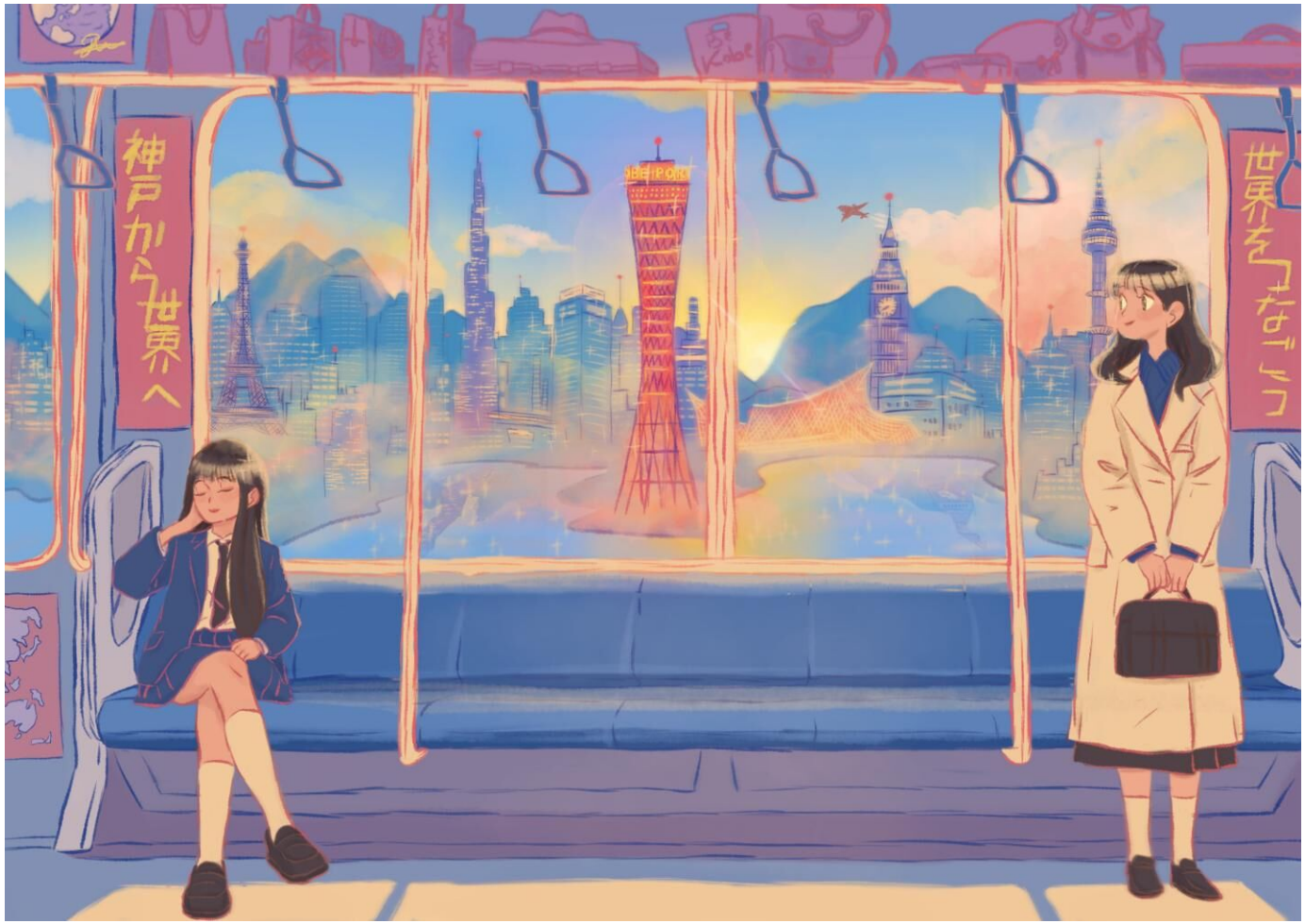
「2035年の神戸」を読み、神戸は海と山に抱かれ、港から新しいものを迎え入れて育ってきた街だと改めて感じました。その神戸がこれからも未来へ向かって進み続ける姿を、「未来の神戸を船に乗せて出航する」イメージで表現しました。船には山、港、街並みなど神戸の魅力をまるごと乗せ、地元の知識も生かして盛り込んでいます。「2035」の文字を大きく添え、「神戸、次の海へ。」「未来へ舵を切る。」の言葉とともに、希望を積んで進む神戸を描きました。

工夫した点

未来の神戸を船に乗せ、「2035」の文字はそのまま見せました。ロゴの色を昼と夜で反転させ、昼も夜も魅力が尽きない神戸を一枚で表現しています。背景は海で統一し、航海の世界観を高めました。

特に見てほしい部分

船に乗った未来の神戸の風景です。山から港、街まで神戸がまるごと乗って未来へ進む一体感と、昼夜で色が反転するロゴに込めた「灯りが絶えない街」の魅力を見てほしいです。



工夫した点

電車の窓から、神戸を中心に世界のさまざまな街が広がる様子を描きました。また、女子学生と大人の女性を同じ人物の過去と未来として表し、電車の旅と人生の成長を重ねました。

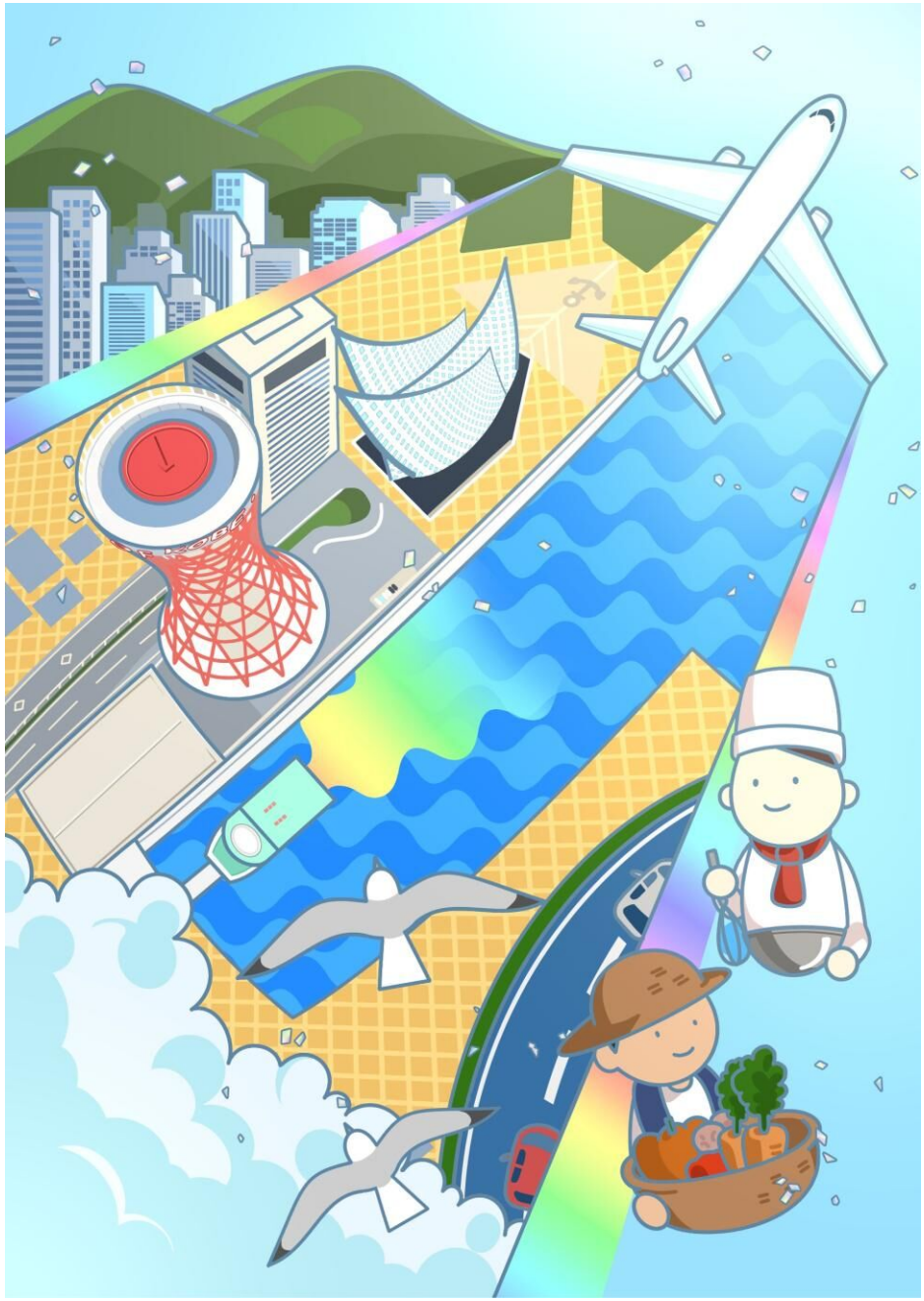
特に見てほしい部分

左側で眠っている女子学生と、右側で窓の外を見ている女性に注目してほしいです。二人は同じ人物の過去と未来を表しています。また、神戸から世界へと景色が広がっていくところも見てほしいです。

作品に込めた想い

2035年の神戸は、今よりもっと世界とつながり、さまざまな国や人々を結ぶ国際的な街になると思います。私は、神戸が世界への入口となり、人々が新しい場所や文化に出会える街になってほしいと思いました。そこで、電車の窓から神戸を中心に世界の街が見える絵を描きました。また、電車は人をいろいろな場所へ運ぶだけでなく、人生の旅や成長も表していると考えました。左側の女子学生は、未来の夢を見ながら眠っています。右側の女性は、成長した彼女自身です。故郷である神戸を見ながら、その先に広がる世界を見つめています。神戸から世界へ出て、新しい経験をしながら、それぞれの夢をかなえていく未来を表現しました。

デジタル部門　作品No.3　翼が導く新しい神戸



作品に込めた想い

「2035年の神戸」を読み、神戸空港や神戸港を通じて世界とつながり、人やモノ、文化が行き交うことで、新しい可能性が生まれていく未来に魅力を感じました。そこで私は、神戸の未来を切り開く存在のひとつとして飛行機を大きく描き、これからの神戸が世界へ羽ばたいていく姿を表現しました。ポートタワーや街並み、山々に加え、人々の生活や活躍も取り入れ、神戸が持つ多くの魅力が一つにつながる様子を描いています。空と海、自然と都市が共存し、それぞれが発展していくことで、今ある神戸らしさを大切にしながら新しい未来へ進んでいくような、希望に溢れた2035年の神戸を表現しました。

工夫した点

神戸の街並みや山など、様々な要素を一枚に収めるため、画面全体に広がりを持たせた構図にしました。また、飛行機の飛んだあとや船の水しぶきを虹色にすることで、未来へ向かう動きと明るく希望に満ちた雰囲気を表現しました。

特に見てほしい部分

特に見てほしいのは、画面を大きく横切る飛行機です。未来の神戸を切り開き、新たな可能性を広げていく象徴として描きました。飛行機を起点に、神戸の様々な魅力が広がっていく様子に注目してほしいです。



作品に込めた想い

2035年はそう遠くない未来だと感じ、今ある神戸の姿をより魅力的に表現したいと思いました。ワクワクする未来の神戸を想像するのにRPGゲームが思い浮かんだので、ゲーム画面のようにドット絵で描きました。山から見下ろす街を眺めながら冒険者たちは次はどこへ行こうかと話しています。神戸には移動手段も多く一日中楽しめる場所も多くあるので思い思いの場所を訪れ仲間を増やしながら経験を積み、さらなる飛躍を目指してレベルアップして欲しいとの願いを込めました。

工夫した点

ゲーム画面のようにするため建造物を出来るだけ少ないドット数で表現出来るよう特徴を押さえながらひとつひとつ描きました。

特に見てほしい部分

冒険者の服の模様が神戸タータンだったり、持っている杖の先がはばたんカラーだったり神戸らしさをさりげなく加えています。



作品に込めた想い

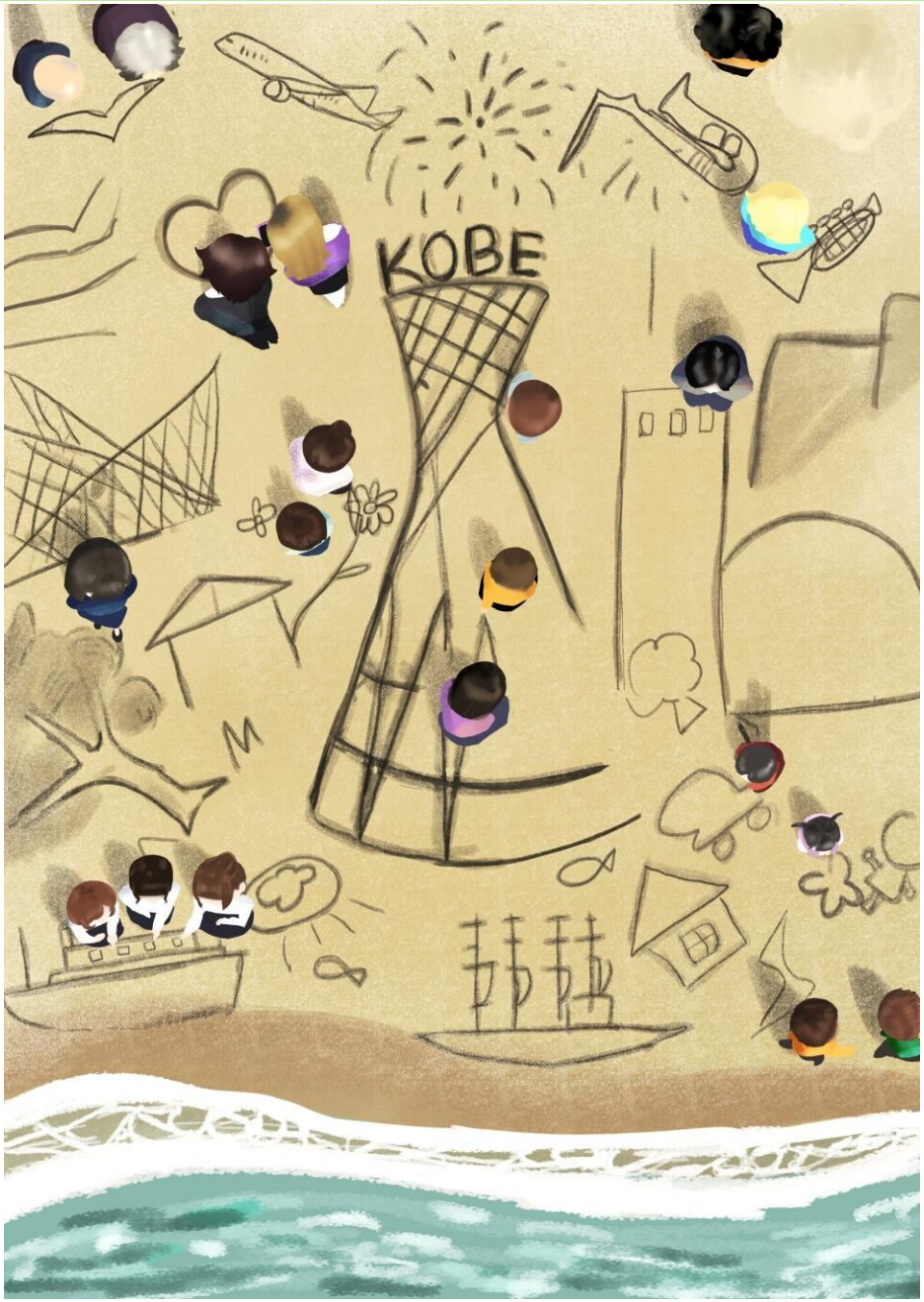
私は宮城県に住んでおり、神戸を訪れたことは数回しかありません。以前、神戸市の方からお話を聞く機会があり、そのとき初めて神戸がジャズで有名な街であることを知りました。そこで、神戸の音楽の魅力がもっと多くの人に広まり、音楽をきっかけに人々が集まる未来を想像して、この作品を描きました。
2035年には、神戸に住む人も観光で訪れた人も、街の中で自然と音楽に触れ、よりジャズを楽しめるようになっていたらいいなと思います。楽器の演奏を聴いたり、自分も演奏に参加したりと、さまざまな形で音楽を楽しむ人々の姿をイメージしました。ジャズの街として神戸の魅力がさらに広がり、音楽が人と人をつなぐ存在になってほしいという願いを込めています。

工夫した点

音楽に集う人々を、小さな鳥たちの姿で表現した点です。鳥たちがドラムやシンバル、サックス、鍵盤などの楽器に集まる様子を描くことで、音楽を楽しむ空間のにぎやかさと、親しみやすい雰囲気を表現しました。

特に見てほしい部分

さまざまな楽器が画面いっぱいに広がる構図と、金色のサックスやシンバルに光が反射する様子に注目してほしいです。また、鳥たちが自由に音楽を楽しんでいるようなかわいらしさも見てほしいです。



作品に込めた想い

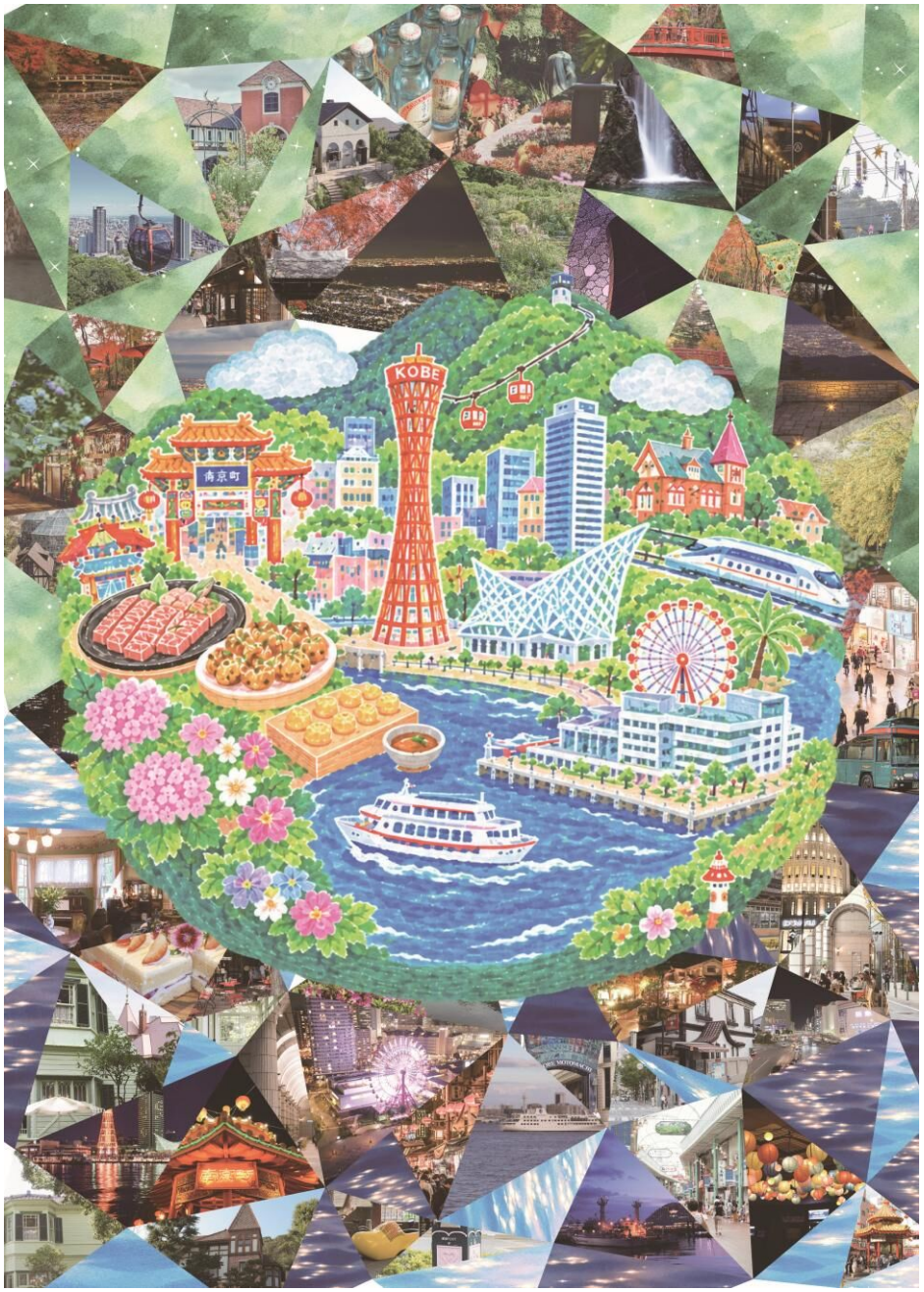
様々な文化が交流し様々な人が行き交う場所、2035年の神戸では多文化交流や神戸そのものの魅力を共存する地域づくりをしていて第6次神戸市基本計画では建設物や構想図にスタイリッシュさを感じるデザイン性だけでなく自然とのふれあいを大切にしているというところに着目しました。様々な人が未来を自分の手で描くことと、港町いうところから海を感じさせるデザインにするために、今回砂浜に絵を描く人々を上から見るという構図にしました。

工夫した点

デジタルイラストなのですが砂浜というところが伝わるよう目が粗いブラシを選んで描きました。いろんな人がいるというところから学生や社会人など様々な人がいます
そのほかに神戸を代表するようなシンボルが描かれていたり、自由に描いている人々が描けるよう工夫しました。

特に見てほしい部分

いろんな人の様子と砂の質感です。真面目に書いている人もいればいない人もいます。その人なりに描いていて、ほかの人と描いている線が違う個性をつけられるようにとにかく手描き感を出すため工夫しました。砂の質感はすこし明るく、暗すぎない色にしました。活気がある雰囲気を感じ取ってほしいです。



作品に込めた想い

人々の暮らしは、困難を乗り越え、築いてきた、たくましい礎によって守られ、それぞれの環境を思いやる行動が、次世代への安心を生み出す。という文章から私は、紡がれてきた神戸(今あるもの)を大切にするために、環境を思いやる行動、神戸を愛する人々の心をこれからも大切にすることが大事だと言うことを伝えたいなと感じました。神戸の魅力をこれからも守り、未来へ繋いでいきたいと思いました。
それを表現するために、中央に未来の神戸、神戸の魅力や守りたいものを配置し、周りを紡がれてきた神戸の魅力のもの、場所の写真を配置しました。

工夫した点

周りの写真を3角にし、紡がれてきたことをイメージさせました。写真は上は緑、下は青色の3角を入れることで神戸の山と海をイメージさせる工夫をしました。

特に見てほしい部分

特に見てほしい部分は周りの三角で構成された写真です。自分の知ってる、お気に入りの場所、好きな場所の写真を見つけて神戸への好きな気持ちを深めてほしいなと思っているからです。

デジタル部門　　作品No.8　　ずっと、この平和な神戸で。



工夫した点

中央で未来を指し示す10年後の末っ子の表情をメインにしつつ、周囲や背景に港、音楽、学びの場を配置することで、1枚の絵の中に神戸の多様な魅力と子どもたちの成長ストーリー、神戸で子育てをしていく親としての希望や理想を詰め込みました。

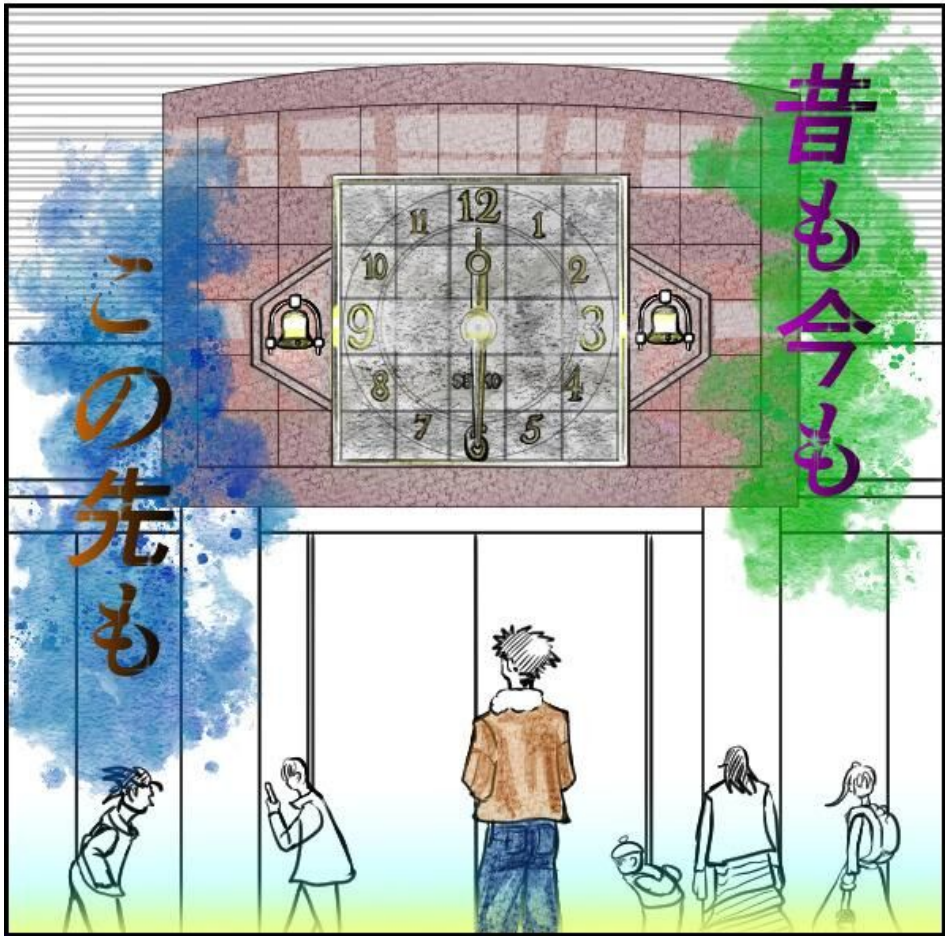
特に見てほしい部分

子どもたちがそれぞれの場所で仲間や家族と見せる生き生きとした笑顔と、青空の下に広がる未来の神戸の街並み…、ポートタワーや赤いキリン、最先端の交通網、ジャズが響く港の明るい空気感です。

作品に込めた想い

10年後、それぞれ21歳、18歳、16歳、11歳と新たなステージへ歩みを進めている4人の娘や息子たちの姿を描きました。私や夫は幼い頃に阪神淡路大震災を経験しました。あの日から、たくさんの愛情に守られてきたこの神戸の街で、子どもたちには災害のない平和で安全な日常の中で、それぞれの夢に向かって真っ直ぐに生きてほしいと願っています。世界とつながる港町の温かな風景や未来の交通網を背景に、世代や所属を超えた笑顔の絆があふれる、あたたかな神戸の未来を表現しました





作品に込めた想い

「2035年の神戸」を読んで私は、より心地よく安心できる場所であってほしいなと思いました。「2035年の神戸」の中にあった「おしゃれで心地よい雰囲気」と「個性豊かな駅」というワードで思い浮かんだ場所があります。そこが西神中央駅にある大きな時計です。私は一度神戸を離れ大学の関係で6年後に戻ってきました。休みの日にふらっと西神中央駅に訪れたらそこで、昔と変わらず大きな時計が出迎えてくれました。西神中央はかなり発展していると思います。施設も新しくなり公共交通機関も充実している。そんな中変わらず残り続けてくれる印象強いあの大きな時計を描き、安心できる心地よい雰囲気の「2035年の神戸」を表現しました。

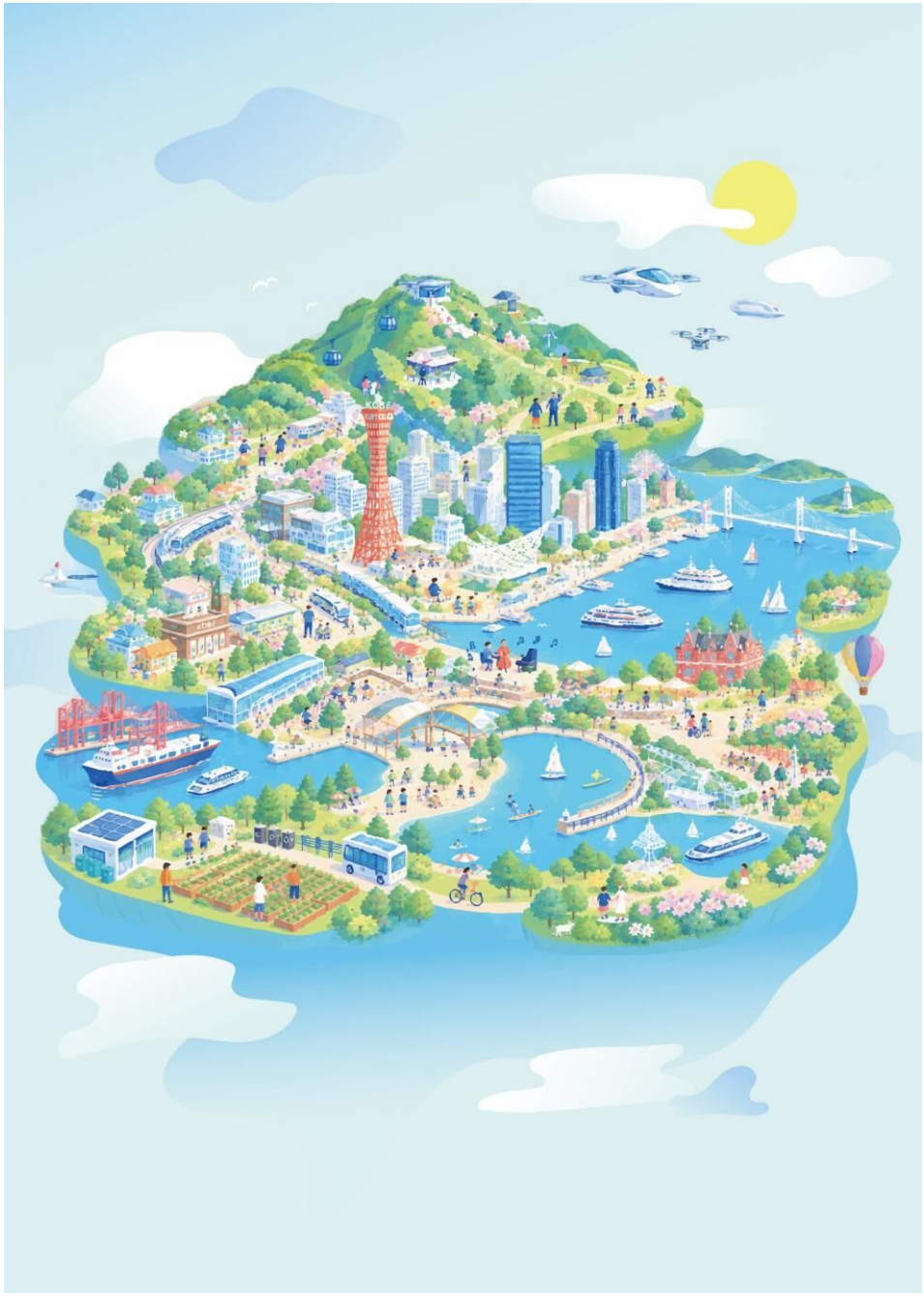
工夫した点

漫画的描写による西神中央駅前の時計への視線誘導と注目してほしい部分だけの彩色です。今回の主役である西神中央駅前の時計ができるだけ目立つように作品を作りました。

特に見てほしい部分

四コマ目に描いた西神中央駅前の時計です。また、一コマ目の2035年の主人公と昔の小さい主人公で時が経っている表現をしたところと2、3コマ目で時計に対する主人公の気持ちの高鳴りを表現したところを見てほしいです。

デジタル部門　作品No.１０　受け継ぐ神戸、創る未来　みしず



作品に込めた想い

「2035年の神戸」を読んで、海や山、街、自然、文化、人々の暮らしなど、神戸にはたくさんの魅力があることを改めて感じました。私は、未来だからといって今の神戸が大きく変わるのではなく、今まで大切にされてきた景色や自然、文化、人とのつながりをこれからも残してほしいと思いました。その上で、新しい技術や交通によって、今より便利で豊かな暮らしが広がってほしいと考えました。そこで、今の神戸らしい街並みや自然、港の風景を残しながら、未来の乗り物や新しい施設などを加え、さまざまな人が集まり、笑顔で交流する姿を描き、今の神戸の魅力が未来へ受け継がれていく様子を表現しました。

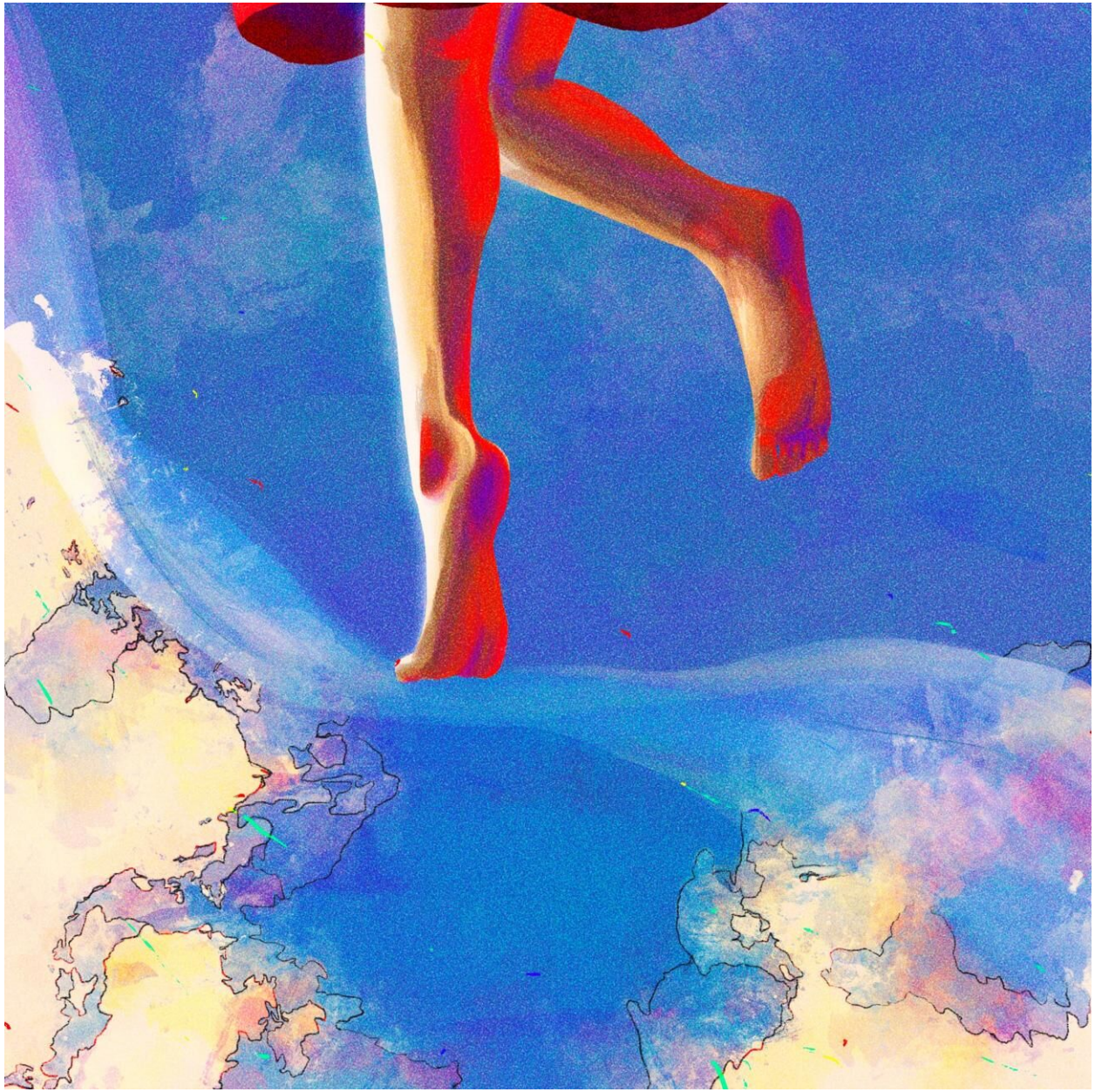
工夫した点

山・街・海を一つの風景としてつなげ、神戸らしい建物や自然を残しながら、空飛ぶ乗り物や新しい交通など未来を感じる要素を取り入れました。人々の活動も細かく描き、街のにぎわいを表現しました。

特に見てほしい部分

神戸の象徴である山と海、そこに広がる街並みを一つにつなげた構図です。現在の神戸らしい景色の中に未来の要素を見つけながら、さまざまな人が暮らし、交流する様子にも注目してほしいです。

デジタル部門　作品No.11　遥風　メノ



作品に込めた想い

「2035年の神戸」が掲げる方向性のうち、「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」の内容に深く共感しました。誰もが主役になれるまちで、誰もが心穏やかに過ごす。そのための「喜び」を表現したく、そこで本作は「開放感」をコンセプトに据え、空と人物の脚を描きました。
作品タイトルは「遙風(はるかぜ)」です。
空の下、軽やかで健やかな日常を素足の人物で表現しています。背伸びのようでもあり、踊りのようでもあるその姿は、「先の未来を覗く様子」と「喜び」の双方を表現しています。
神戸の象徴であるポートタワーを模した赤いスカートをまとい、風通しのよい素足で、強い光が差し込む神戸の未来を見つめる姿を描きました。

工夫した点

主に色使いを工夫しました。
各要素を単調な一色でまとめるのではなく、多様な色彩を用いることで、七色の光が持つような明るく美しいイメージに近づくよう表現しています。

特に見てほしい部分

雲の質感や、脚の細かなディティールなど、細部まで非常にこだわって制作しました。そうした細かな部分にも、ぜひ注目してご覧いただけますと幸いです。

デジタル部門　作品No.12　神戸の時間　Makoto



工夫した点

神戸で過ごす時間の過ごし方やさまざまな人の距離感を飲み物で表しました。

特に見てほしい部分

人々の動きや神戸で楽しめる名物のコーヒーや日本酒、紅茶など実際に神戸の地で楽しめる飲み物を描きました。また2035年には今よりももっとさまざまな文化の人々が混ざり合っていると思うので、人にはあえて色をのせない表現にしました。

作品に込めた想い

「都心には、おしゃれで心地よい雰囲気と、温かなもてなしの心があふれる。周辺に広がる交通網によって、人と人の出会いと交流がうまれ、まちの魅力がさらに深まる。」という文章にスポットしました。一人で過ごす人も、誰かと一緒に過ごす人も豊かな時間が流れる、そんなイメージを受けました。人と人の距離が近すぎず遠すぎず、居心地のよい空気感が流れる、特にお気に入りの元町のまちをイメージして描きました。